

令和8年 業種別労働災害発生状況
(令和8年1月1日～7月31日現在)

函館労働基準監督署

区 分 業 種 別		令和8年7月末			令和7年7月末			対 前 年		業 種 ・ 割 合 (%)	令和7年（確定）		
		死 亡	休 業 4 日 以上	計	死 亡	休 業 4 日 以上	計	増 減 数	増 減 率 (%)		死 亡	休 業 4 日 以上	計
全 産 業 合 計		1	331 (5)	332 (5)	6	323 (4)	329 (4)	3	0.9	100.0	7	628 (14)	635 (14)
除 く 鉱 業 計		1	331 (5)	332 (5)	6	323 (4)	329 (4)	3	0.9	100.0	7	628 (14)	635 (14)
製 造 業			69	69	1	61	62	7	11.3	20.8	1	109	110
内 訳	水 産 食 料 品		25	25		17	17	8	47.1	7.5		41	41
	他 の 食 料 品		12	12		16	16	-4	-25.0	3.6		23	23
	木材木製品・家具		7	7		4	4	3	75.0	2.1		9	9
	窯 業 土 石 製 品		3	3		2	2	1	50.0	0.9		3	3
	金 属 ・ 機 械		6	6		7	7	-1	-14.3	1.8		13	13
	輸 送 用 機 械 等		3	3	1	7	8	-5	-62.5	0.9	1	9	10
	そ の 他		13	13		8	8	5	62.5	3.9		11	11
鉱 業													
土 石 採 取 業						1	1	-1	-100.0			1	1
建 設 業			36	36		37 (1)	37 (1)	-1	-2.7	10.8	1	75 (1)	76 (1)
内 訳	土 木 工 事 業		22	22		19 (1)	19 (1)	3	15.8	6.6		39 (1)	39 (1)
	建 築 工 事 業		9	9		6	6	3	50.0	2.7	1	17	18
	木 造 建 築 業		2	2		9	9	-7	-77.8	0.6		13	13
	その他の建設業		3	3		3	3			0.9		6	6
道路貨物運送業			34	34		22	22	12	54.5	10.2		48 (4)	48 (4)
その他の運輸			9 (1)	9 (1)		8	8	1	12.5	2.7		15 (1)	15 (1)
陸上貨物取扱業												1	1
港 湾 運 送 業												1	1
林 業			2	2	3	6	9	-7	-77.8	0.6	3	10	13
水 産 業		1	9	10		3	3	7	233.3	3.0		9	9
卸 売 ・ 小 売 業			43	43	1	40	41	2	4.9	13.0	1	79 (2)	80 (2)
清 掃 業			18	18	1	12	13	5	38.5	5.4	1	28	29
そ の 他 の 事 業			111 (4)	111 (4)		133 (3)	133 (3)	-22	-16.5	33.4		252 (6)	252 (6)
内 訳	保 健 衛 生 業		70	70		85	85	-15	-17.6	21.1		163	163
	接 客 娛 楽 業		13	13		25	25	-12	-48.0	3.9		40	40
	そ の 他		28 (4)	28 (4)		23 (3)	23 (3)	5	21.7	8.4		49 (6)	49 (6)
今月のコメント	1 労働災害の状況 全産業の労働災害は332件で、前年の同時期に比べ、3件増加しています。事故の型別では、「転倒」が110件、「墜落・転落」が45件、「その他」が41件です。 2 令和8年7月受付分について 業種別の被災者数については、製造業(10件)、卸・小売業(9件)、道路貨物運商業(6件)、社会福祉施設(6件)の順に多く発生しています。 3 コメント ・本年度も5月から9月までは「 STOP！熱中症クールワークキャンペーン 」の キャンペーン期間中 です。 暑さ指数をWBGT指数計で把握する等、暑さ指数に応じた対策を講じ、熱中症予防に取り組んでください。												

※ 本統計は労働者死傷病報告（休業4日以上）により集計したものです。（ ）内は、交通事故による労働災害の内数です。
※ 函館労働基準監督署の管轄は、渡島管内と檜山管内です。

令和 8 年 死亡労働災害発生状況

函館労働基準監督署

No.	発 生 月	時 刻	業種	事故 の型	起因物	災 害 発 生 概 況
1	1	11 時 台	水産業	おぼれ	水	被災者を含め 4 人が乗船した漁船が漁港近くでヒラメの底建網漁を行っていたが、被災者等と連絡が取れなくなったため、搜索したところ、海岸沿いの消波ブロック付近に被災者が倒れているのが発見され、その場で死亡が確認された。（被災者以外の 3 人は労働者ではない者。）

※本件事例には、脳・心臓疾患等によるものは、掲載していません。